

令和7年度 事業報告書

1. 概 況

令和7年(2025年)度の夏は2024年と並んで3年連続で観測史上1位の記録的な暑い夏となりました。6月には熱中症に関する労働安全衛生規則が改正されたことを受け、熱中症の恐れがある会員に対する処置などを定めるなど、安全意識の啓発や安全就業パトロールなども行うことにより事故件数は前年度に比べ7件減少しました。

さて、景気に目を向けると、厚生労働省が発表した2025年分の毎月勤労統計調査によると物価を考慮した働き手1人あたりの「実質賃金」は前年比が1.3%減となり物価の伸びに賃金が追いつかず、4年連続のマイナスとなりました。

このような状況の中ではありますが、東京都の最低賃金の上昇、新宿区の報酬下限額の上昇を踏まえた配分金単価の上昇により、当センターの年間の契約金額(派遣事業を除く)は約8億4,442万円、前年度比約5.0%の増加となりました。また、派遣事業は、契約金額が約5,807万円で、前年度比4.9%の増加でした。

令和7年度事業について、まず周知活動ですが、対面での入会説明会、出張説明会、インターネット入会説明会、事業所への訪問営業、PRチラシのポスティング、区の広報紙に加え、ランディングページ(入会案内に特化したWEBページ)やSNSによるインターネット広告など、多様な手法を用いて会員獲得に努めております。特に最近導入したデジタルサイネージでは、区役所や出張所に設置されたモニターで、会員が制作した紹介コンテンツを放映しています。これは、会員の主体的な関与を促すとともに、地域への認知度向上にも寄与しており、令和7年度末の会員数は前年度比で28人、1.6%増の1,754人で、10年ぶりに1,750人を超えることができました。

就業機会の拡大では、就業開拓専門員によるポスティングや訪問営業等とともに、会員向けの個別就業相談や特別出張所ごとの就業相談会などを実施しました。また、職員等による就業現場巡回やローテーション就業により適正就業の促進に取り組ましました。

また、「ここ・からまつり」に参加するとともに、毎月事務所内で実施している「交流カフェ」では落語家を呼ぶなど、会員間の交流については新たな取組を進めているところです。

以上の事業に取り組みつつ、フリーランス法施行を見据えた就業に係る契約方法の見直しについては令和7年4月から順次進めており、令和8年度は個人が発注者の契約を対象としています。理事会運営ではよりいっそうの透明性確保のため、いわゆる外部理事1名、外部監事1名を選任しました。

その他 smile to smile の推進などのデジタル化をはじめ効果的効率的な事業推進に取り組んでまいりましたが、令和7年度の主な実施状況と成果を次ページ以降に紹介いたします。

2. 周知活動の強化

(1) 普及啓発活動等実施状況

ランディングページ（入会案内に特化した WEB ページ）を新たに作成するとともに、SNS での広告配信を実施しました。

また、より親しみやすいセンターを目指し、広報誌「まあるい」についてデザインの刷新や、新規 PR グッズの作成を行いました。

P R 方 法	実 施 内 容	実施回数 等
印刷物の作成	イメージカラーである赤色を用いた、事業全般に関するパンフレット、チラシの作成	随時
PR グッズの作成	オリジナルキッチンスポンジ、名入れジッパーバッグ、オリジナルクリアファイル	随時
区広報の活用	「広報新宿」に入会募集及び受講生募集等掲載	17 回
デジタルサイン	新宿区役所本庁舎及び特別出張所で実施	9 回
新聞折込み	会員募集(公募)及び仕事募集のチラシの折込み	2 回 計 70,000 部
法人への PR	新宿法人会及び四谷法人会と連携し、会報に仕事募集 チラシを同封し区内事業所向けに配布 新宿法人会：2,900 部 四谷法人会：3,400 部	3 回
就業開拓訪問活動	企業や町会等の地域関係者への受注案内による訪問 PR、一般家庭へポスティング：約 7 千部	307 事業所 225 町会等
区施設・町会での PR	特別出張所へのパンフレット・チラシ配置 名入れカレンダーを町会に配布 オリジナルしおりを図書館に配置	随時
個人への PR	各種イベントでの PR チラシやグッズの配布	13 回
玄関前掲示板掲出	自主事業チラシ、作品掲出及びチラシ入れの活用	常時
公式 HP での発信	受注状況一覧表や各種お知らせ、教室の応募案内等を 掲載し、最新の情報を発信	常時
YouTube チャンネル	YouTube「公益社団法人新宿区シルバー人材センター」 チャンネルへの動画の掲載	常時
LINE 公式アカウント	センター会員を対象に事業周知を実施	10 回
機関紙の発行	「まあるい」の発行・全会員等に配付	3 回
会報の発行	「事務局だより」の発行・全会員配付	12 回

(2) イベント等への参加状況

イ ベ ン ト 名	参 加 年 月 日	参 加 場 所	参加者数
レガスまつり 2025	令和 7 年 4 月 12 日	新宿コズミックセンター	6 名
西早稲田リサイクルまつり	令和 7 年 6 月 14 日	西早稲田リサイクル活動センター	6 名
体験！しんじゅくささえあい	令和 7 年 9 月 27 日	桜美林大学	8 名
シニアしごと EXPO	令和 7 年 10 月 9 日	新宿 NS ビル	4 名
これからシルバー 応援フェスタ	令和 7 年 11 月 13 日	としま産業振興プラザ	4 名
新宿スポレク 2025	令和 7 年 10 月 13 日	新宿コズミックセンター	18 名
ふれあいフェスタ 2025	令和 7 年 10 月 19 日	新宿スポーツセンター前 やくどうの広場	20 名
榎町地域センターまつり	令和 7 年 10 月 26 日	榎町地域センター	7 名
アトムフェスタ	令和 7 年 11 月 2 日	新宿リサイクル活動センター	7 名
シニア充実ライフ万博	令和 7 年 10 月 31 日	牛込筆筈区民ホール	20 名
牛込筆筈地域まつり	令和 8 年 1 月 18 日	筆筈地域センター	8 名
四谷ふれあい祭	令和 7 年 3 月 6 日	四谷地域センター	9 名

3. 会員の拡大と資質の向上

(1) 会員拡大(新宿区内 60 歳以上の区民に公募)

対面入会説明会(33 回開催)及び地域(出張入会)説明会(3 回開催)、ネット入会説明会(常時開催)等を実施しました。令和 7 年度末の会員数は 1,754 人で、前年度比で 28 人、1.6%の増でした。

経営計画の 7 年度指標 1,720 人に対する達成率は 102.0%です。

会員	7 年度			6 年度			差 引		
	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末
男(人)	111	114	1,002	132	126	1,005	△21	△12	△3
女(人)	121	90	752	118	101	721	3	△11	31
計(人)	232	204	1,754	250	227	1,726	△18	△23	28

(2) 資質の向上(会員研修等)

会員の資質を向上するため、研修等の実施及び参加を推進しています。

区 分	研 修 内 容	実施回数	受講者数
センター研修等	新入会員研修(接遇研修)	29 回	215 名
	必修研修	8 回	119 名

	家事援助調理研修	3 回	28 名
	生活援助員研修（新宿区主催）	3 回	19 名
	PC スキルチェック	2 回	18 名
	smile to smile 登録研修会	104 回	358 名
第 3 ブロック合 同； 中野区・杉並区 板橋区・豊島区 練馬区・新宿区	代表理事等会議「新たな会員獲得のための 取組について」	1 回	3 名
	役員研修「食と健康について」	1 回	4 名
	職員研修「デジタル社会とシルバー人材セ ンター」	1 回	4 名
	安全就業研修「シルバー会員が安全に働き 続けるための 7 つのヒント」	1 回	16 名

4. 就業機会の拡大

就業開拓専門員による地域事業所等への訪問営業や「お仕事募集」PR チラシのポスティング、新聞折込みなどにより受注拡大を図りました。

(1) 就業実績(請負)

前年度に比べて、就業実人員は 6 人の増となり、就業率は 0.7%減となりました。シルバー派遣事業を合わせた就業率は 70.9%です。

経営計画の 7 年度指標 76.0%に対する達成率は 87.5%です。

項 目	7 年度	6 年度	差 引	増 減 率
年度末会員数(人)	1,754	1,726	28	1.6%
就業実人員 (人)	1,166	1,160	6	0.5%
就業率 (%)	66.5%	67.2%	△0.7%	

(2) 就業相談等(新宿区内 60 歳以上の区民に公募)

センター事務所での個別就業相談会及び 10 地区の特別出張所で出張相談を実施しました。

相談会名	実施回数等	参加者数
対面入会説明会	33 回(毎月開催)	176 名
地域(出張) 入会説明会	3 回開催(2 月)	50 名
ネット入会説明会	常 時	72 名
個別就業相談会	13 回(毎月開催)	200 名
出張相談(10 ヲ所)	39 回(5～7. 9. 10. 12. 2. 3 月)	289 名

(3) 事業実績

①受託事業

受託件数は10,915件で、公共事業・民間事業とも増により前年度比441件4.2%の増でした。

(※自主事業;一部の部門においてカウント基準変更、従前基準ではR7年度:72)

契約金額は約8億4,442万円で、前年度比約4,038万円、5.0%の増でした。

経営計画の7年度指標7億9千万円に対する達成率は106.9%です

事業別	受託件数 (件)				契約金額 (円)			
	7年度	6年度	差引	増減率	7年度	6年度	差引	増減率
公共事業	306	284	22	7.7%	411,512,923	382,348,998	29,163,925	7.6%
民間事業								
計	10,609	10,190	419	4.1%	432,904,804	421,685,862	11,218,942	2.7%
企業	5,141	5,389	△248	△4.6%	358,958,900	344,422,507	14,536,393	4.2%
家庭	4,559	4,729	△170	△3.6%	63,389,233	66,049,033	△2,659,800	△4.0%
自主	※909	72	837	1,162.5%	10,556,671	11,214,322	△657,651	△5.9%
合 計	10,915	10,474	441	4.2%	844,417,727	804,034,860	40,382,867	5.0%

※これまで自主事業「らくらくリフォームウェア事業」における受託件数のカウント方法は毎月の実績を取りまとめ、一括して計上する方式としていました。令和7年度より利用者サービスの向上を図るため、個別依頼の内容を正確に把握し、データ管理のデジタル化を進める観点から受託件数のカウント方法を個別の契約毎にカウントする方式に変更しました。この変更により、受託件数は令和6年度と比較して大幅な増加となっています。

●自主事業

(単位:円)

項 目	7年度	6年度	差 引	増減率
パソコン教室	978,500	950,000	28,500	3.0%
書道教室	1,740,000	1,720,000	20,000	1.2%
手編み教室	190,000	210,000	△20,000	△9.5%
ここ・から英会話	3,525,380	3,036,920	488,460	16.1%
らくらくリフォームウェア	2,845,621	4,032,512	△1,186,891	△29.4%
手づくりショップ・ふれあい	1,277,170	1,264,890	12,280	1.0%
合 計	10,556,671	11,214,322	△657,651	△5.9%

②シルバー派遣事業

受託件数は前年度から微減となったものの、より多くの方に就業機会を提供できたことで就業実人員は増加し、契約金額についても前年度を上回る実績となりました。

項 目	7 年度	6 年度	差引	増減率
受託件数(件)	197	202	△5	△2.5%
就業実人員(人)	77	67	10	14.9%
就業延人員(人)	6,742	7,076	△334	△4.7%
契約金額(円)	58,073,234	55,367,158	2,706,076	4.9%

(4) 適正就業の促進

・適正就業の徹底

職員による就業現場の巡回を行い、発注者及び会員に適正就業について周知・説明することで適正就業を徹底しました。

・公平な就業機会の提供

ローテーション就業やワークシェアリングを推進しました。

・適正就業ガイドラインの周知

センターホームページに「適正就業ガイドライン」を掲載しました。

5. 会員の安全確保と健康管理の推進

(1) 安全就業活動実施状況

機材の点検や安全就業関連冊子の会員への配付とともに、シルバー100トレの会の充実とウォーキング講座の開催など会員の健康増進に取り組みました。今年度から9月の「安全就業強化月間」のほか、5月を「熱中症予防強化月間」と定め、熱中症予防のための勉強会や対策グッズの配付を実施しました。また、12月には安全就業標語の募集等を行うことで安全就業の啓発を行いました。

項目・テーマ	実施回数	講師等	実施場所等	参加者数
植木用機材の定期点検	12 回	事務局	シルバー人材センター	3 名
安全就業だより発行	12 回	事務局	全会員に配付	—
転倒事故予防冊子の配付	54 回	事務局	新入会員、研修受講会員に配付	—
安全大会	1 回	新宿警察署	牛込簞笥区民ホール	74 名
熱中症対策勉強会	1 回	暮らしの 保健室	シルバー人材センター	34 名
シルバー100 トレの会	24 回	新宿区健康 づくり課	シルバー人材センター	326 名
ウォーキング講座	4 回	日本ウォー キング協会	シルバー人材センター	53 名
令和 8 年度安全就業標語 募集・選定	1 回	安全委員会	「慌てない 心にゆとり まず一歩」 「足腰を 鍛えて健康 事故は無し」	応募者 12 名 作品 24 点

(2) 安全就業パトロール

安全委員会委員による安全就業パトロールを、新規契約先現場、パトロール未実施現場を中心に実施し、事故防止に取り組みました。

パトロールした 29 件で安全意識、服装・保護具、作業環境、作業用具等、共同作業、緊急時対応、健康管理、感染症対策の 8 項目の安全就業チェックを行いました。

(3) 熱中症予防対策

クールシートを購入して、主に外仕事の就業現場に配付しました。また、熱中症対策勉強会の参加者に対して、クールスプレーや塩飴を配付するとともに、安全就業だよりにて会員に熱中症予防を呼びかけました。

(4) シルバー保険

令和 7 年度の傷害事故は 16 件と前年度に比べ 8 件減少しましたが、その内 10 件が転倒事故となっています。また、就業途上事故が 6 件で、そのうち前年発生しなかった自転車での事故が 3 件発生しました。

損害賠償責任事故については 3 件と、前年度に比べ 1 件増加しました。事故件数は前年度に比べ 7 件減少しましたが、過去 2 年が事故が多い状況だったので、決して事故が少ないわけではありません。今後も慌てない行動第一を心がけ、交通ルールや安全意識の普及啓発に取り組みます。

項 目	7 年度	6 年度	差 引
傷害事故 計 (件)	16	24	△8
就業中	10	18	△8
就業途上	6	6	0
損害賠償責任事故 (件)	3	2	1
合 計 (件)	19	26	△7

6. 会員活動の活発化

(1) 会員相互の交流状況

「交流カフェ」の開催や地域との交流活動を通じて、会員相互および地域住民の交流を図りました。また、交流カフェにおいて演奏会や落語会などの臨時的なイベントを開催し、交流カフェの実施について会員へ広く周知するとともに、参加のきっかけづくりを行いました。

(2) ボランティア等への参加状況(公益性の高い地域活動等に参加)

年間ボランティア参加延人数は321人で、前年度と比べ214人減少しました。経営計画の7年度指標895人に対する達成率は35.9%となりました。なお、今年度は夏季に高温が続き、熱中症の危険が高かったことから、7月から9月にかけて防犯パトロールやセンター周辺の道路清掃をはじめとした一部のボランティア活動を中止しました。

項 目	実施回数	参加者	備 考
防犯パトロール	17 回	87 名	7 月～9 月間中止
センター周辺の道路清掃	10 回	30 名	7 月～9 月間中止
戸塚地区地域班による道路清掃	6 回	26 名	
落合第二地区地域班による道路清掃	10 回	96 名	
使用済み切手収集	随時	9 名	
ごみゼロ運動	3 回	49 名	春期：4 地区 27 名 秋期：4 地区 22 名
新宿年末クリーン大作戦	1 回	9 名	
新宿シティハーフマラソン	1 回	9 名	沿道の案内
東京マラソン祭り 2026	1 回	6 名	観客誘導案内

(3) 令和7年度ここ・からまつり実施状況

実施日時	11月9日（日） 午前10時～午後3時 雨
出展団体及び 実施概要	4委員会・5自主事業・1職群班・1地域班による、 展示、相談、体験コーナー、輪投げ、茶席
参加者数	来場者約2,400名、会員・職員等125名

※お茶会体験から寄付金24,400円及び落合第二地区地域班から寄付金3,000円、併せて27,400円を新宿区社会福祉協議会に寄付しました。

7. 組織基盤の強化

(1) 自主自立の組織運営

● 定時総会 （議決権を有する会員の総数：1,662名）

定時総会は、公益法人改革に伴い、定款の変更や正特会員でない理事・監事1名ずつを含む16名の役員を選任しました。

新宿区立牛込算笥区民ホール	6月20日（金）	参加者1,239名（委任状等を含む）
---------------	----------	--------------------

● 理事会等の開催状況

理事会	定例12回・臨時3回
事業委員会	12回
広報委員会	5回
社会参画委員会	7回
安全委員会	11回
家事援助・育児支援事業開拓分科会	5回
自主事業運営分科会	4回
世話役会議	1回
班長・組長会議	4回
地域班会議・活動	26回

(2) 事務局機能

職員29名（常勤職員10名 嘱託職員11名 補助職員8名）

- ・インターネット等のデジタル技術の活用した事務所運営や情報の収集・発信に取組み、能率・効率化に努めました。
- ・新宿区等公共関係の契約について、会員と当センターを含む包括契約で締結しました。

- ・子育てしやすい職場環境の整備等に資するため、職員関係規程を整備しました。
- ・2025 年 4 月からの「公益法人制度改革」に伴い見直された「公益法人会計基準」の改正を踏まえ、定期提出書類(事業計画書・収支予算書)の取扱い、及び余剰金の取扱いに関する変更に対する当センターの対応に資するため、公認会計士による第 3 ブロックの研修を受講しました。

8. 適正な運営のための必要な事項(ガバナンス向上に向けた自主的な取組等)

- (1) 事業の公益性確保の取組実績(再掲) ; 会員募集(公募)、入会説明会(公募)
ボランティア活動参加
- (2) 当センター事業実績について会長へ毎月の報告、理事会へ半年毎の報告により執行状況の課題等を把握・分析・評価し、以後の健全な経営のための内部管理体制の構築に取り組んでいます。
- (3) 事業年度の半期に 1 度、監事による現金・郵券の実査を自主的に行い、当センター事業の適正な執行に努めています。
- (4) 監事に専門研修を受講させ、効果的な監査を行うことで当センター事業がより適正に実施されるよう取り組んでいます。
- (5) 役員の改選時に、外部理事を新宿区内の社会福祉法人職員より 1 人選任しました。また、外部監事を新宿区内の公益財団法人職員より 1 人選任しました。当該理事、監事には、当センターの役員として理事会に参加していただき、当センターの事業運営に係る資料を提供しました。

事業報告の附属明細書

令和 7 度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則 第 34 条第 3 項」及び「定款第 40 条第 1 項第 2 号」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人新宿区シルバー人材センター 会長 中 島 利 明